



河小だより

第 13 号

校 区 内
回 覧

全国学力・学習状況調査からみる成果と課題

校長 川上 治男

学力実態の目安の一つである「平成 30 年度全国学力・学習状況調査」（6 年生対象）が 4 月に行われ、結果が届きましたのでお知らせします。（今年度は 3 年に 1 度の理科も実施）

1 平均正答率

平均正答率	河原田小(全国比較)	佐渡市	新潟県	新潟市	全国平均	※全校トップの県平均
国語 A (知識)	79 (+8.3)	72	72	73	70.7	国語 A 77 : 秋田県
国語 B (活用)	64 (+9.3)	55	57	59	54.7	国語 B 61 : 秋田県
算数 A (知識)	68 (+4.5)	63	66	66	63.5	算数 A 68 : 石川県
算数 B (活用)	57 (+5.5)	51	51	53	51.5	算数 B 59 : 石川県
理 科	64 (+3.7)	59	60	62	60.3	理科 66 : 石川県

国語 A・B、算数 A・B、理科のいずれも正答率が全国平均を超えています。国語の「文の中で漢字を使う問題」はよくできていました。また、算数の「数の大小比較」「単位量あたりの大きさの混み具合や単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味についての理解」の正答率が全国平均を上回っていました。

逆に、国語の漢字で、「管理する」の「管」を「警察官」の「官」と間違える誤答がたくさんありました。算数は、「角の大きさ」の正答率が全国平均を下回りました。「180°の角の大きさを求める問題」で「0°」や「90°」と答えたり「180°より大きな角度を求める問題（270°）」で「70°」と答えたりする誤答がたくさん見られました。理科の「上流側の天気と下流側の川の水位を分析する問題」で、複数の情報を関連付けながら分析し解答する問題がありました。しかし、一つの文章だけで判断し資料を関連付けて読み取っていないための誤答が多く見られました。今後、複数の資料を関連付けて考えていく力の育成を図ります。また、誤答や無解答が多かった問題については、授業の中で内容の理解・定着を図っていきます。

2 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 ※全国平均と10ポイント以上の差があった質問項目を抜粋

	番号	質問事項	全国との差
全国平均を上回った項目	1	自分には、よいところがあると思いますか	+29.6
	2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	+24.2
	10	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	+11.0
	21	今住んでいる地域の行事に参加していますか	+19.4
全国平均を下回った項目	27	算数の勉強は好きですか	+22.4
	48	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	+25.3
	12	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	-15.2
	14	学校の授業時間以外に、普段(月~曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)(2時間以上)	-12.7
全国平均を下回った項目	22	地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか	-16.5
	25	新聞を読んでいますか(ほぼ毎日+週に1~3回)	-11.5
	43	理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか	-10.4

「自分にはよいところがあると思う」と答える児童がたくさんいることから、自己肯定感が高いことが分かります。また、進んで行事に参加したり地域のボランティア活動へ参加したりする児童がたくさんいました。逆に、「学校の授業の予習・復習に取り組む」「新聞を読む」等の割合が低かったため、今後取り組んでいく必要があります。

マラソン大会

10月2日(火)に佐和田の海岸道路で行われました。風の強い天気でしたが、子どもたちは完走や新記録をめざして力走しました。たくさんの保護者の方、地域の方から応援していただきました。また、ボランティアとしてたくさんの保護者の方からご協力いただきました。ありがとうございました。

学年	男女	1位	2位	3位
1	男子	横田 瑤介	藤井 結心	高橋 利夢
	女子	川井 仁香	諸橋 夏帆	米津 結衣
2	男子	渡辺 恵輝	本間 崇資	田屋虎太郎
	女子	末武 夏奈	近江 滯	佐々木結伽
3	男子	本間 新	高橋 大翔	眞藤 緑夢
	女子	小林 柊羽	羽豆 風香	戸田 帆香
4	男子	田屋 旺祐	本間 縁	小田 恵佑
	女子	塚本 由衣	吉田はづき	中村 日咲
5	男子	杉本 煌真	鈴木 大悟	渡辺 健太
	女子	清水 知夏	本間 南海	萩田 実那
6	男子	萩田 力斗	佐藤 大起	田中 敢太
	女子	三島利央奈	遠藤 有華	高野 莉乙



←1年生スタート

↓6年生折り返し



創立記念朝会

10月15日(月)は河原田小学校の創立記念日で、毎年記念朝会を行っています。創立146年となる今年は校長講話でした。まず、学校ができた年や場所について、次に「青い目の人形(名前はメリー)」について話がありました。河原田小学校にある「青い目の人形」のいわれや、約12,000体送られて現存するのは全国で約300体(約2.5%)しかないことなどを写真入りで紹介しました。朝会后、低学年の子どもたちが早速、校長室にある「青い目の人形」を見学に来ました。河原田小学校の歴史について考えるきっかけとなった創立記念朝会でした。



校長室にある「青い目の人形」メリー

子どもたちの活躍

市展ジュニア部門	奨励賞(書)	3年 末武 怜奈、5年 萩田 実那
	奨励賞(絵)	1年 渡部 心愛、2年 渡辺 恵輝
「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール	新潟日報賞	6年 遠藤 有華「米寿への願い」(作文)
	新潟放送賞	2年 末武 夏奈「田うえきゴーゴー！」(絵)
佐渡市子どものための科学祭り	特別奨励賞【科学作品展】	2年 溝口正一郎「小わく星たんさきはやぶさ2」
	理セ所長賞【おもちゃコンテスト】	2年 大地なずな「かみパックでかんらん車」
MOA美術館 佐渡児童作品展	入選	4年 中村 日咲、5年 岩崎 郁子
		6年 萩田 力斗

ご寄付いただきました

田屋様、中田様、長岡様からトキカードをご寄付いただきました。ご寄付いただいたもので、子どもたちがクラブで使う卓球のボール、バドミントンのラケットを購入させていただきました。ありがとうございました。